

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

上水道用丸型鉄蓋-大口徑

ROタイプ

重要

蓋のがたつき・飛散事故防止のために、
道路開放前には、蓋が確実に閉まっ
ていることを確認してください。

HINODE

目次

ご使用の前に

はじめに	1
各部の名称	2
取り扱い上のご注意	3
蓋開閉の種類・使用工具	5

蓋の基本操作

蓋の開け方	6
蓋の閉め方	10
蓋の着脱方法	16
管理ナンバーキャップの取り付け	22

製品の仕様

仕様・寸法	24
-------	----

維持管理

維持管理のお願い	25
----------	----

はじめに

安全上のご注意

この取扱説明書は「上水道用丸型鉄蓋-大口徑 ROタイプ」の取り扱い方法について必要事項を説明しています。取り扱いの前に必ずお読みいただき、また、いつでも確認できる場所に保管してください。

安全上の表示の意味

 警告	正しく取り扱わなかった場合に、人が死亡する、または重傷を負う恐れがある事項です。
 注意	正しく取り扱わなかった場合に、人が傷害を負う、または物的損害が生じる恐れがある事項です。
 お願い	本製品の性能を保持するために、必ずお守りいただきたい事項です。

- ・安全にご使用いただくために、設置後「上水道用丸型鉄蓋-大口徑 ROタイプ」の点検・整備を必ず行ってください。
- ・「上水道用丸型鉄蓋-大口徑 ROタイプ」の設置・管理にあたっては、道路法、道路交通法、道路構造令、労働安全衛生法、騒音規制法などの関係法令を遵守し、安全には十分注意してください。
- ・記載されているイラストは、仕様の変更などにより、実際の製品とは異なる場合があります。
- ・記載内容に関してご不明な点がございましたら、弊社営業所までお問い合わせください。

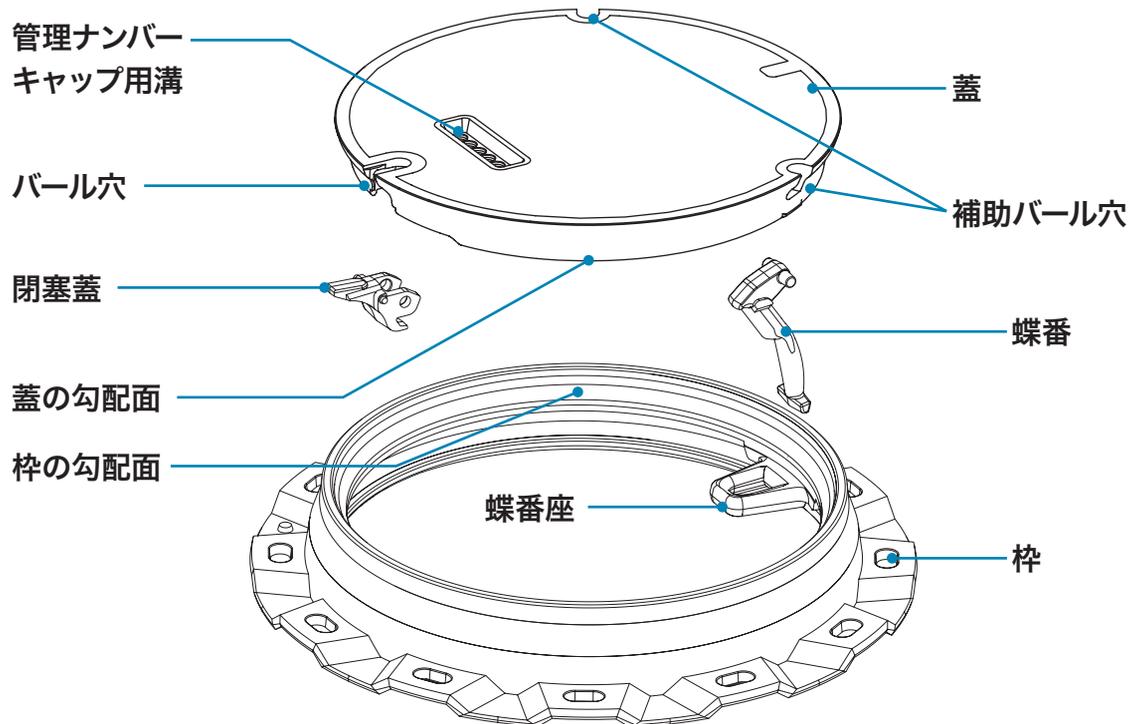
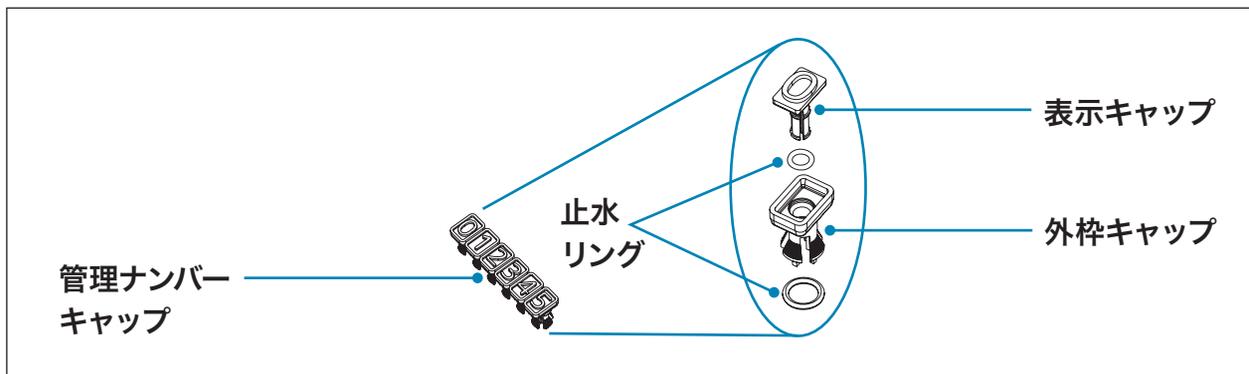
各部の名称

蓋の各部

- ・蝶番：蓋の裏側に取り付けられている連結用金具
- ・ボール穴：蓋に設けてある、蓋開閉用の専用ボール差し込み穴
- ・閉塞蓋：ボール穴から内部への土砂、水の侵入を防止する機能を持つ金具
- ・管理ナンバーキャップ：主にバルブ番号の表示に使用する樹脂製キャップ(6桁用)
- ・蓋の勾配面：蓋の外周面で、枠の勾配面との接触面

枠の各部

- ・蝶番座：枠の内周面に設けてあり、蝶番の連結部分
- ・枠の勾配面：枠の内周面上部で、蓋の勾配面との接触面



取り扱い上のご注意

製品を取り扱う際のご注意

⚠ 警告

- ・ 蓋の開閉操作を行う際には、周囲の交通事情に十分配慮してください。
- ・ 蓋の開閉操作を行う際には、開口部の周囲に保守棚または履工板を設置するか、あるいは保守要員を配置するなど、安全対策に万全を期してください。
- ・ 蓋を枠にセットする際には、蓋の蝶番を枠の蝶番座に必ず取り付けてください。
- ・ 蓋の取り付け作業を行う際には、足場を十分に確保し、ボックス内に転落しないようにしてください。
- ・ 蓋は、開放しなければならない時以外は、完全に閉めておいてください。
- ・ 蓋の開閉操作は静かに行い、蓋を足元に落下させたり、手を挟んだりしないようにしてください。
- ・ 蓋を閉める際には、蓋を枠に対して水平に収め、蓋の外周をバールで軽くたたいて食い込ませてください。その後、蓋の上に乗る、体重を移動させながら蓋のがたつきがないことを確認してください。

⚠ 注意

- ・ 蓋を取り扱う際には、必ず手袋を着用してください。
素手で扱うと、けがをする恐れがあります。
- ・ 蓋を垂直回転して倒す際には必ず角材を置いて、蓋と地面の間に指を挟まないようにしてください。
- ・ 蓋を閉める際には、蓋と枠の勾配面を清掃し、土砂などの異物を除去してください。
蓋の勾配面に異物が介在している場合、がたつきが発生し、最悪の場合、蓋が飛散する恐れがあります。

🙏 お願い

- ・ 蓋を開ける際は専用バールを使用してください。
専用バール以外の工具による開閉は、製品の機能を損なう恐れがあります。
- ・ 蓋を食い込ませるとき、蓋と枠の境目の部分をたたかないでください。
境目の部分にカエリができ、蓋が開けにくくなります。
- ・ 標示部を直接専用バールでたたかないでください。
標示部の剥離、クラックの原因になります。
- ・ 蓋と枠は転がしたり、引きずったり、投げたり、落としたりしないでください。
製品に傷が付き、さびの原因となります。また、蓋と枠の勾配面に打ち傷が付くと、蓋のがたつきが発生し、最悪の場合、蓋が飛散する恐れがあります。
- ・ 蓋と枠の勾配面のさびや油分を除去してください。
さびが発生している場合には、ワイヤーブラシなどでさびを削り取り、専用の補修用スプレーで補修してください。この時、塗装ダレが生じる程の厚塗り、勾配面全面への塗布はしないでください。
軽油などの油分が付着した場合は、シンナーなどで拭き取ってください。
- ・ 蓋の管理ナンバーキャップ用溝の異物は除去してください。
異物が介在していると、管理ナンバーキャップを挿入できなくなります。
- ・ バール穴内部に土砂が堆積している場合は、蓋を閉める前に必ず土砂を除去してください。
- ・ カラー標示を行っている蓋についてはカラー標示部に土砂等が堆積している場合は、取り除いてください。
土砂等が堆積したままだと視認性が低下し、周囲への注意喚起や有事の際に発見が遅れる恐れがあります。

製品保管時および運搬時のご注意

お願い

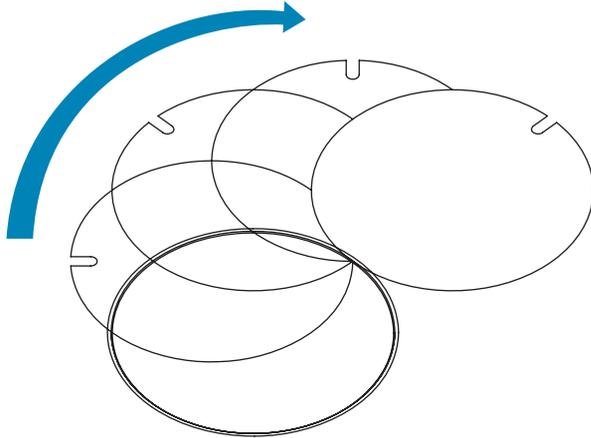
- ・ 標示保護シートが一部浮いてめくれている場合は、標示保護シートの浮きを押さえ、テープで貼り付けてください。
- ・ 標示保護シートは、道路開放直前まではがさないでください。

蓋開閉の種類・使用工具

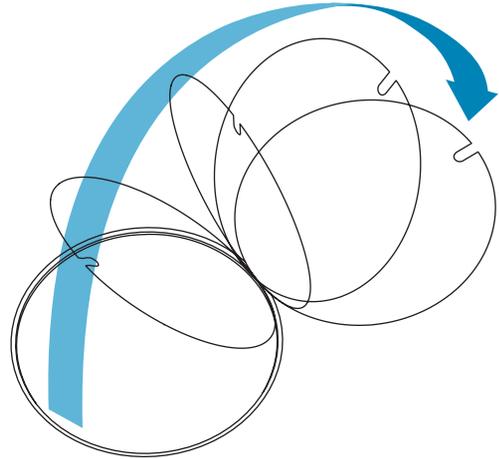
蓋開閉の種類

- ・ 水平旋回：蓋を開閉する際に蝶番を支点に、蓋を水平方向に回転させること。
- ・ 垂直転回：蓋を開閉する際に蝶番を支点に、蓋を反転させること。

水平旋回

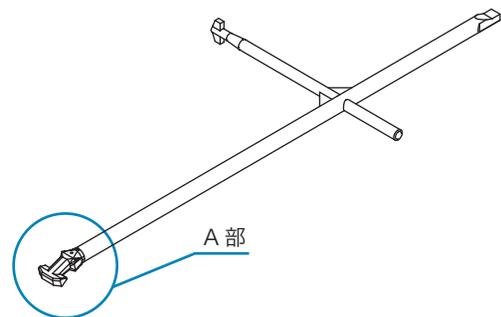


垂直転回



使用工具

- ・ 専用バール
蓋の開閉に使用します。この専用バールを使用することで開閉動作が一連の動作で行え、かつ比較的軽い力で操作する事ができます。



お願い

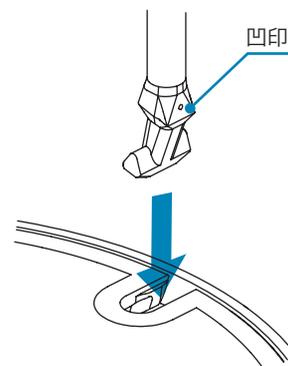
- ・ 蓋を開閉する際には、専用バールを使用してください。
専用バール以外の工具による蓋の開閉は、製品の機能を損なう恐れがあります。
- ・ 蓋を閉める際には、バールは左右均等に持ってください。
左右均等でない場合、蓋が不安定になる恐れがあります。
- ・ 蓋を閉める際には、バールの先端T字部（A部）をバール穴の奥まで挿入し、90度回転させてから蓋を閉めてください。
90度回転させずに操作すると、蓋をまっすぐに送り込むことができない恐れがあります。

蓋の開け方

1. 蓋と枠の食い込みの解除

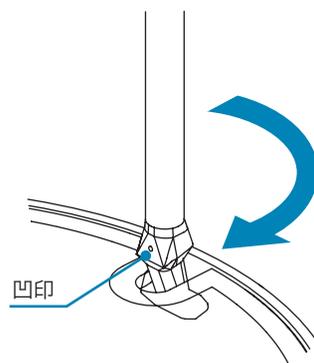
蓋は枠に食い込んでいるため、専用バールで食い込みを解除した後、蓋を開けます。

①専用バールの先端を、バール穴に差し込みます。

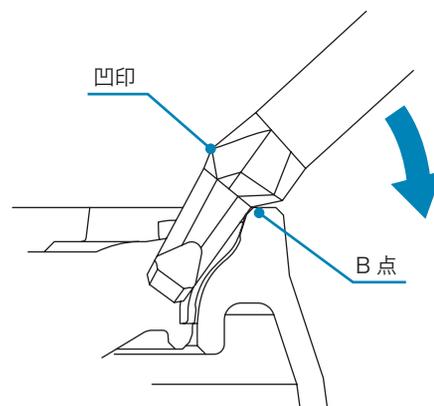


②専用バールを90度回します。

このとき、専用バール先端部の凹印面(黄色の面)が蓋の中心側を向くようにします。

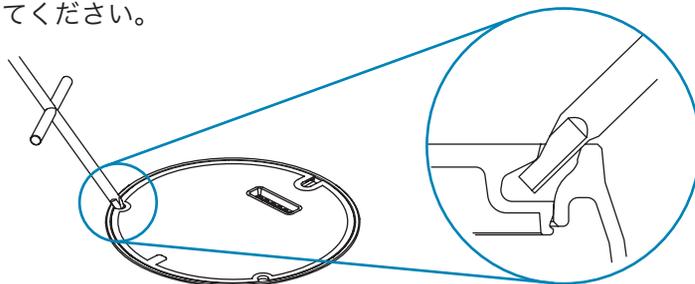


③専用バール先端部のB点の位置を枠の上端の角に合わせます。専用バールを押し下げて、蓋と枠の食い込みを解除します。

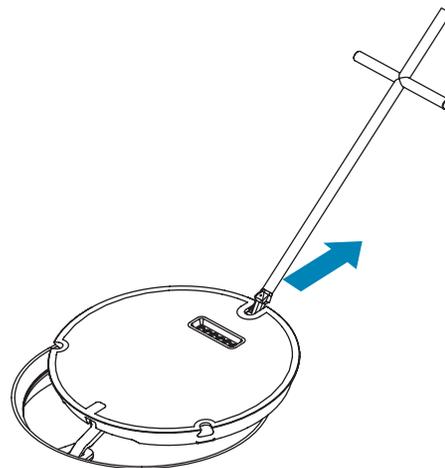


お願い

- ・バール穴から食い込み解除できないような場所に蓋が設置されている場合は、補助バール穴に専用バールの他端を挿入して食い込み解除を行ってください。



-
- ④専用バールをバール穴に差し込んだ状態のまま、蓋を上方に持ち上げ、手前斜め上に蝶番の長さいっぱい引き出します。



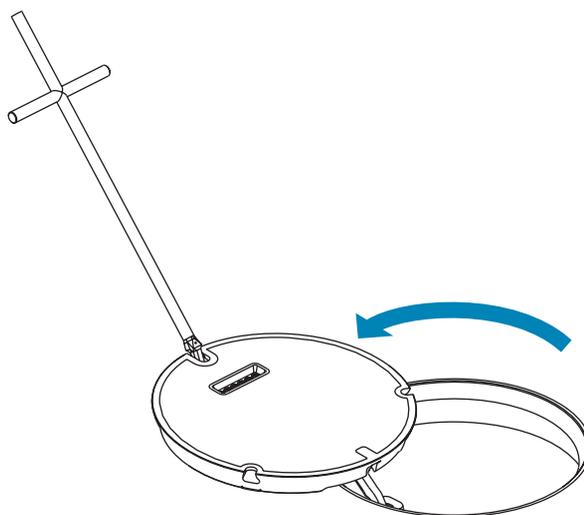
お願い

- ・蓋のスムーズな開閉操作が行えるように、蓋は最大限に引き出した状態にしておいてください。

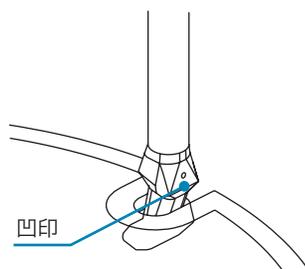
上記④の状態から水平旋回、または垂直転回して蓋を開けます。

2. 水平旋回の場合

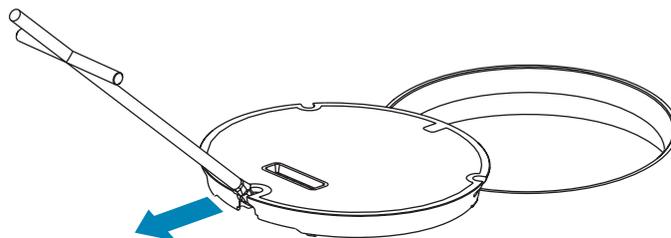
- ⑤専用パールはフックも兼用しているため、そのまま蓋を水平方向に旋回して蓋を開けます。水平旋回時、蓋は常に手前に軽く引っ張った状態で操作します。
(蓋は左右いずれの方向にも水平旋回が可能です。)



- ⑥180度水平旋回させたら、蓋を手前にいっぱい引き寄せます。その後、専用パールを垂直に立てて90度回して抜き取ります。

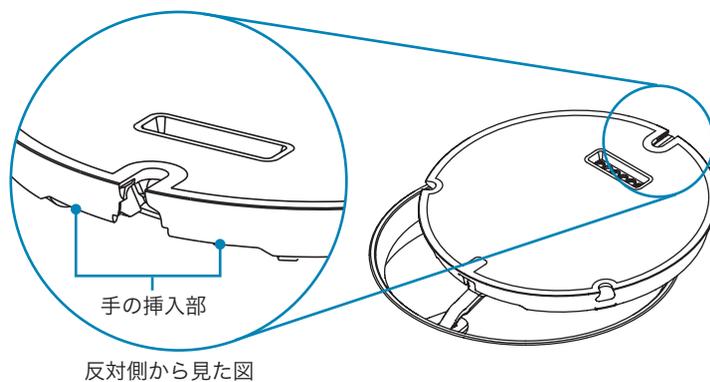


専用パールはこの状態で抜き取る



2. 垂直転回の場合 ※P7の④からの続き

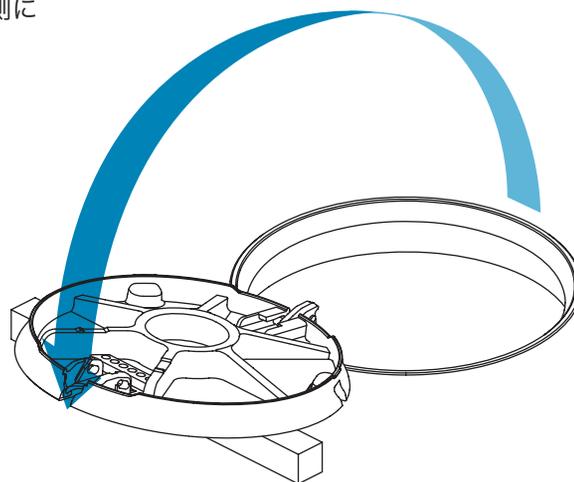
- ⑤専用バールを抜き取り、蓋の垂直転回方向に障害物がなく作業者がいないことを確認します。
蓋と地面との隙間に手を挿入します。



⚠ 注意

- ・ 蓋を扱う際には、必ず手袋を着用してください。
素手で扱くと、けがをする恐れがあります。

- ⑥蓋を手で持ち、蝶番を支点に垂直転回させ、反対側に静かに倒します。



⚠ 警告

- ・ 足場を十分確保し、ボックス内に転落しないようにしてください。

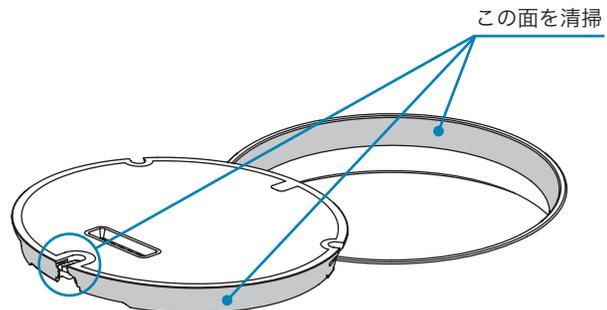
⚠ 注意

- ・ 蓋を垂直転回する際には、必ず角材などを置いて蓋と地面との間に指を挟まないようにしてください。

蓋の閉め方

■水平旋回の場合

- ① ウエスや金ペラを用いて、蓋と枠の勾配面、およびパール穴部を清掃し、土砂などの異物を除去します。



⚠注意

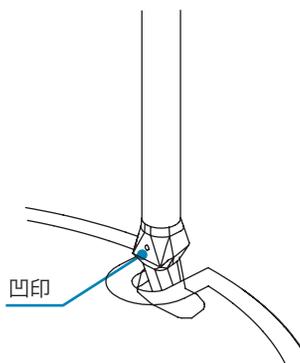
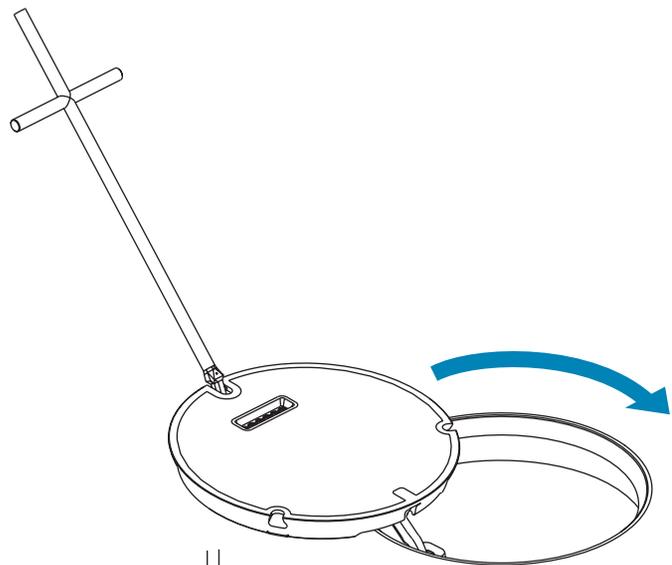
- 蓋を閉める前に、蓋と枠の勾配面を清掃し、土砂などの異物を除去してください。
蓋と枠の勾配面に異物が介在していると、がたつきの原因となり、最悪の場合、蓋が飛散する恐れがあります。

🙏お願い

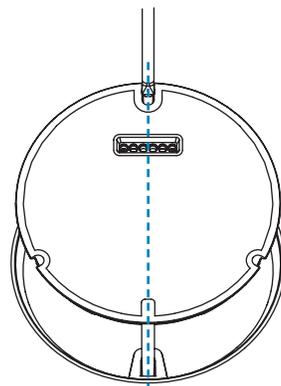
- パール穴に土砂が堆積している場合は、閉塞蓋の機能を十分に発揮できない可能性があるため、蓋を閉める前に必ず土砂の除去を行ってください。

- ② 蓋を開ける際と同じ要領で専用バールの先端をパール穴に差し込んで90度回し、蓋を軽く持ち上げた状態で水平旋回させ、蓋を引き出した位置(P7.蓋の開け方④)まで移動させます。

このとき、蓋と枠が一直線上になっていることを確認してください。

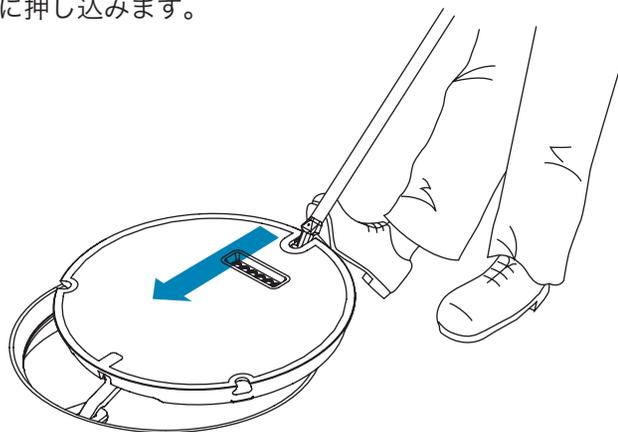


専用バールをこの状態にして蓋を水平旋回する

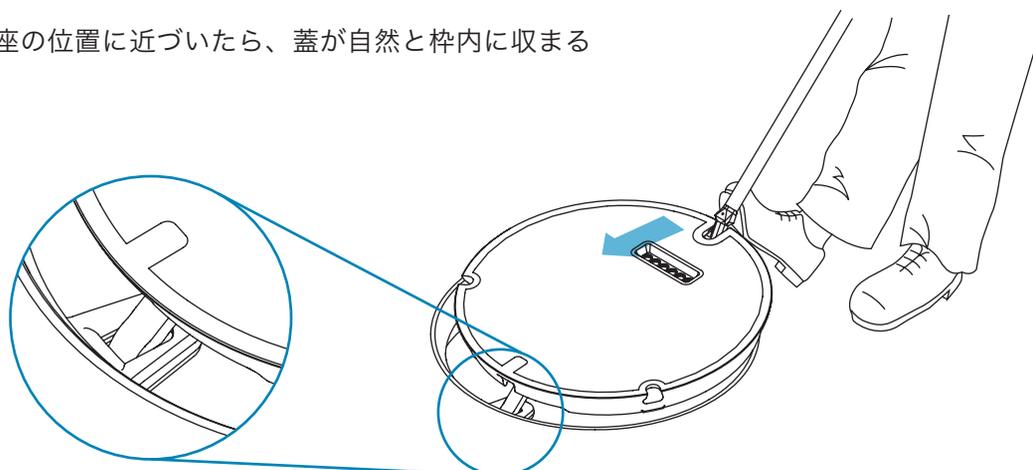


蓋と枠が一直線上になっていることを確認する

③蓋に片足を添え、蝶番側に向かって蓋をまっすぐに押し込みます。



④蓋が枠の蝶番座の位置に近づいたら、蓋が自然と枠内に収まるようになります。

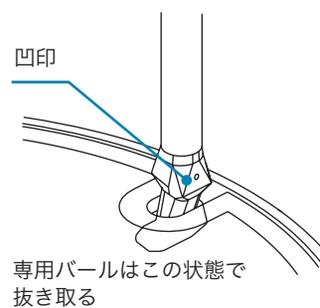


蓋が蝶番座の位置に近づいた状態

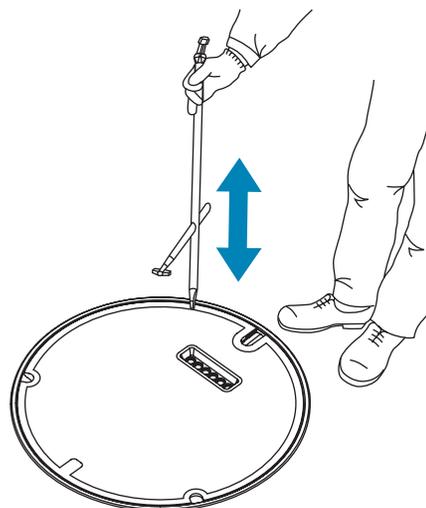
お願い

・バールを持つ手や足の力で無理に押し込まないでください。

⑤専用バールを90度回して抜き取ります。

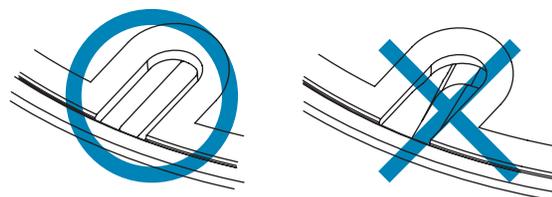


- ⑥蓋を枠に収めた後、専用バールの先端で蓋の外周を数カ所たたいて、蓋上面と枠上面がほぼ同じ高さになるように食い込ませます。

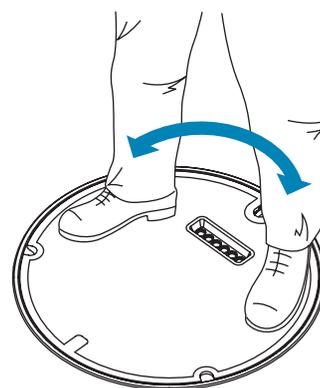


お願い

- ・ 蓋を食い込ませるとき、蓋と枠の境目の部分をたたかないでください。
境目の部分にカエリができ、蓋が開けにくくなります。
- ・ 標示部を直接バールでたたかないでください。
標示部の剥離、クラックの原因となります。
- ・ 閉塞蓋が正規の位置にあることを確認してください。
閉塞蓋が下がっている場合は、専用バール先端で閉塞蓋を上下動させて正規の位置に戻してください。



- ⑦蓋の上に乗る、体重を移動させながら蓋のがたつきがないことを確認します。



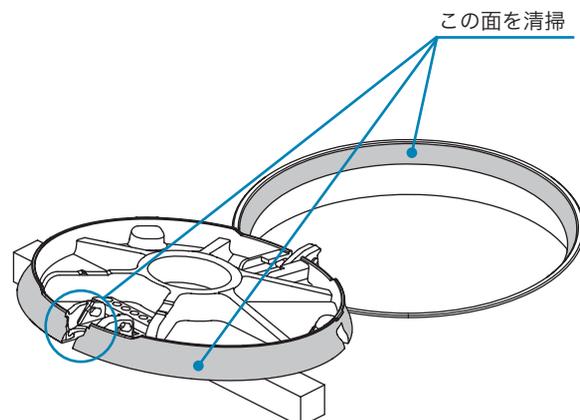
警告

- ・ 蓋のがたつきがある場合は、①～⑦の操作を繰り返して、がたつきがないようにしてください。
蓋のがたつきがある状態で放置すると、最悪の場合、車両通過時に蓋が飛散する恐れがあります。
①～⑦の操作を繰り返してもがたつきが解消されない場合は、弊社営業所にご連絡ください。

- ⑧カラー標示を行っている蓋についてはカラー標示部に土砂等が堆積している場合は、取り除いてください。
土砂等が堆積したままだと視認性が低下し、周囲への注意喚起や有事の際に発見が遅れる恐れがあります。

■垂直転回の場合

- ①ウエスや金ペラを用いて、蓋と枠の勾配面、およびパール穴部を清掃し、土砂などの異物を除去します。



⚠注意

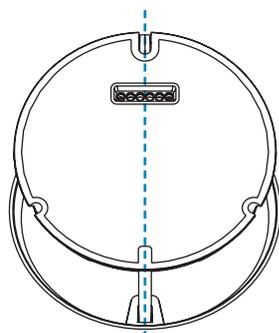
- ・蓋を閉める前に、蓋と枠の勾配面を清掃し、土砂などの異物を除去してください。
蓋と枠の勾配面に異物が介在していると、がたつきの原因となり、最悪の場合、蓋が飛散する恐れがあります。

🙏お願い

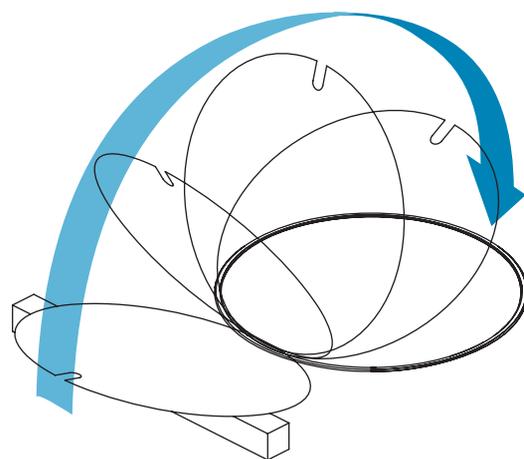
- ・パール穴に土砂が堆積している場合は、閉塞蓋の機能を十分に発揮できない可能性があるため、蓋を閉める前に必ず土砂の除去を行ってください。

- ②角材によってできた蓋と地面との間の空間に手を挿入し、蓋を持ちます。

- ③蝶番を支点に蓋を垂直転回させ、蓋を引き出した位置 (P7.蓋の開け方④)まで移動させます。
このとき、蓋と枠が一直線上になっていることを確認してください。



蓋と枠が一直線上になっていることを確認する



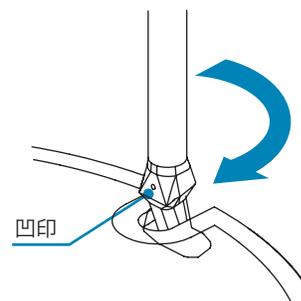
⚠警告

- ・蓋を垂直転回する際には足場を十分に確保し、ボックス内に転落しないよう十分注意してください。

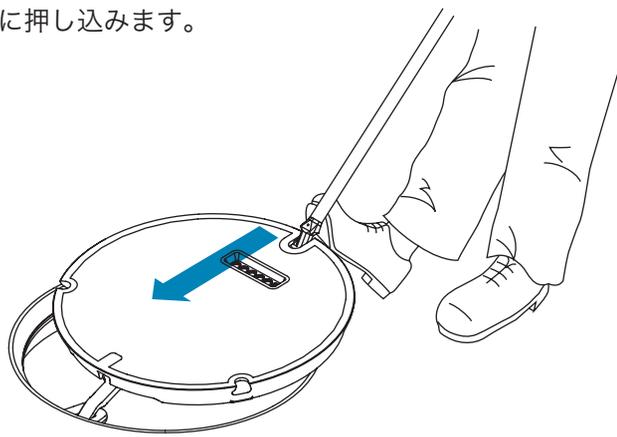
⚠注意

- ・蓋を扱う際には必ず手袋を着用してください。
素手で扱うと、けがをする恐れがあります。
- ・蓋を垂直転回する際には、指を挟まないようにしてください。

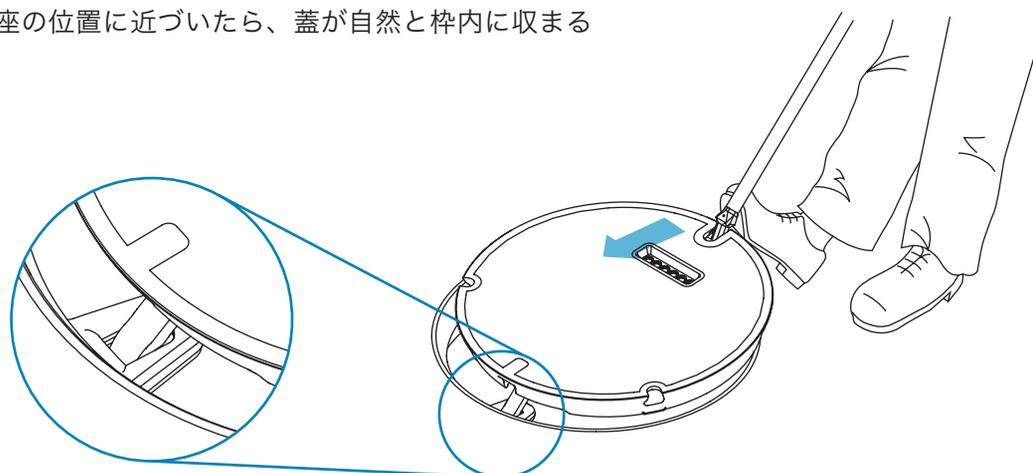
- ④専用バールの先端をバール穴に差し込み、90度回転します。このとき、専用バール先端部の凹印面（黄色の面）が蓋の中心側を向くようにします。



- ⑤蓋に片足を添え、蝶番側に向かって蓋をまっすぐに押し込みます。



- ⑥蓋が枠の蝶番座の位置に近づいたら、蓋が自然と枠内に収まるようになります。

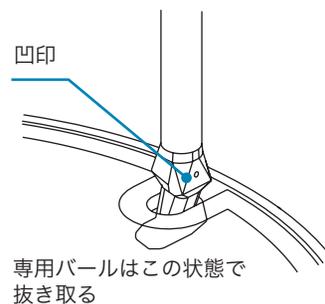


蓋が蝶番座の位置に近づいた状態

お願い

- ・バールを持つ手や足の力で無理に押し込まないでください。

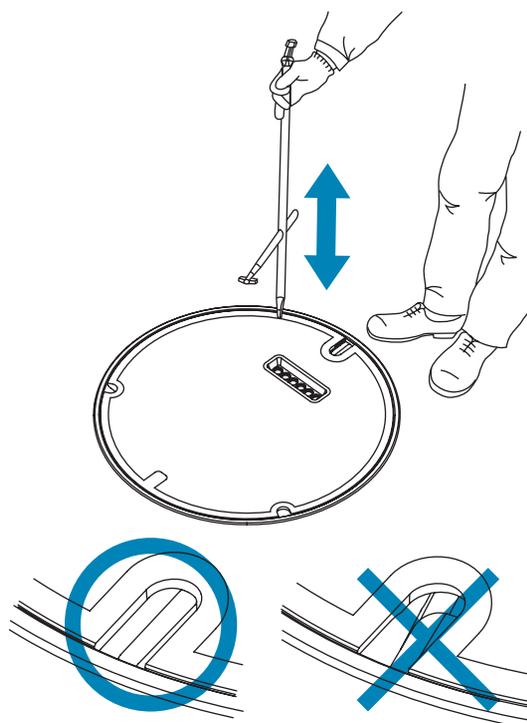
⑦専用パールを90度回して抜き取ります。



⑧蓋を枠に収めた後、専用パール先端で蓋の外周を数箇所たたいて、蓋上面と枠上面がほぼ同じ高さになるように食い込ませます。

お願い

- ・蓋を食い込ませるとき、蓋と枠の境目の部分をたたかないでください。
境目の部分にカエリができ、蓋が開けにくくなります。
- ・標示部を直接パールでたたかないでください。
標示部の剥離、クラックの原因となります。
- ・閉塞蓋が正規の位置にあることを確認してください。
閉塞蓋が下がっている場合は、専用パール先端で閉塞蓋を上下動させて正規の位置に戻してください。



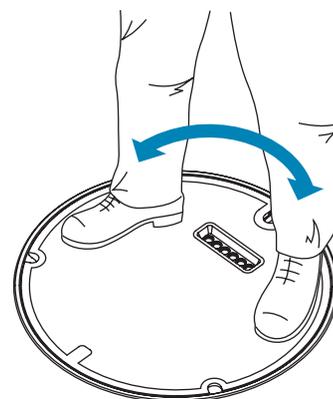
⑨蓋の上に乗る、体重を移動させながら蓋のがたつきがないことを確認します。

警告

- ・蓋のがたつきがある場合は、①～⑨の操作を繰り返して、がたつきがないようにしてください。

蓋のがたつきがある状態で放置すると、最悪の場合、車両通過時に蓋が飛散する恐れがあります。

①～⑨の操作を繰り返してもがたつきが解消されない場合は、弊社営業所にご連絡ください。



⑩カラー標示を行っている蓋についてはカラー標示部に土砂等が堆積している場合は、取り除いてください。
土砂等が堆積したままだと視認性が低下し、周囲への注意喚起や有事の際に発見が遅れる恐れがあります。

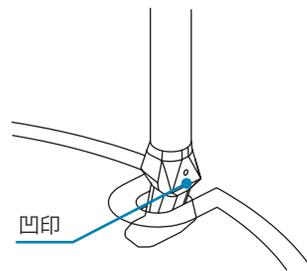
蓋の着脱方法

■蓋の取り外し

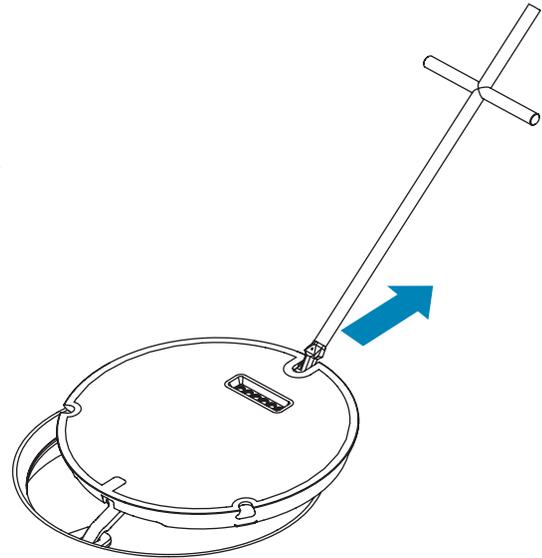
- ①専用バールで蓋の食い込みを解除し、蓋を手前に引き出します。その後専用バールを90度回して抜き取ります。

(P6～P7「蓋の開け方 1.蓋と枠の食い込みの解除

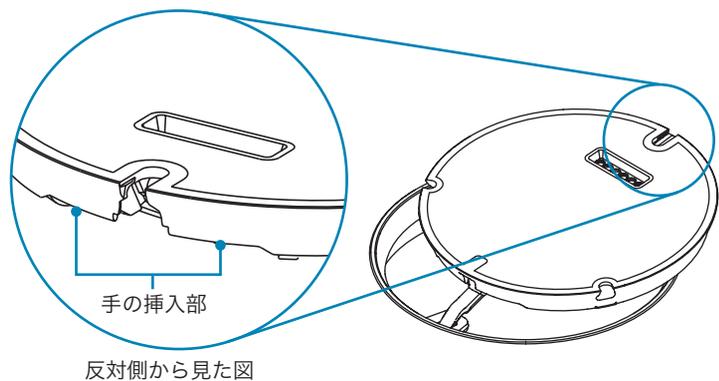
①～④」をご参照ください。)



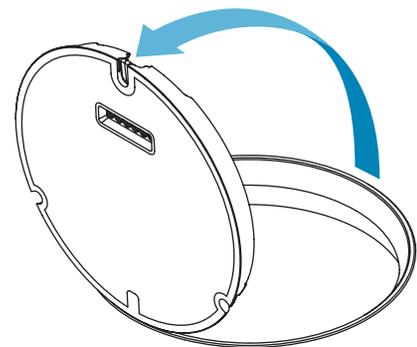
専用バールはこの状態で抜き取る



- ②蓋と地面との隙間に手を挿入します。



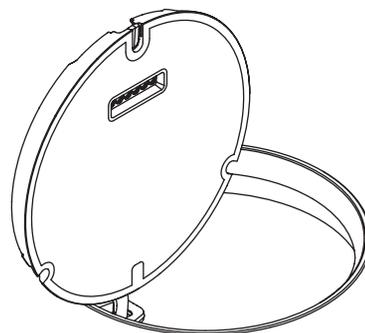
- ③蓋を手で持ち上げます。



⚠注意

- ・蓋を取り扱う際には必ず手袋を着用してください。
素手で扱うと、けがをする恐れがあります。

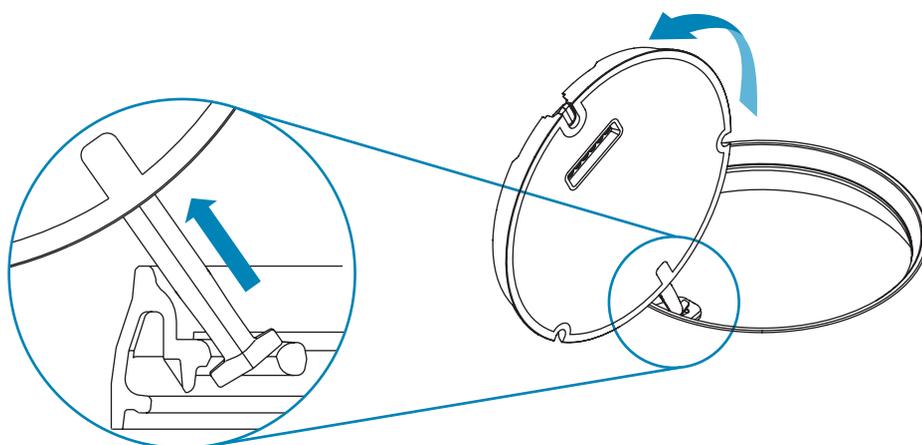
④蓋を90度回転させ、そのまま枠の上面に載せます。



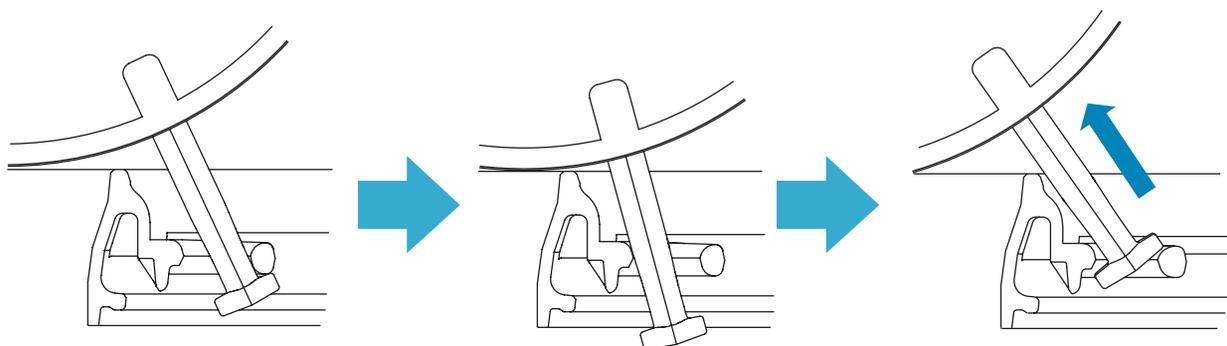
警告

・蓋を取り外す際には、指の挟み込みや、ボックス内に転落しないよう十分に注意してください。

⑤下図のように蝶番を枠外周方向に寄せた状態で蓋を持ち上げ、蓋を転がしながら蝶番を蝶番座から抜きます。

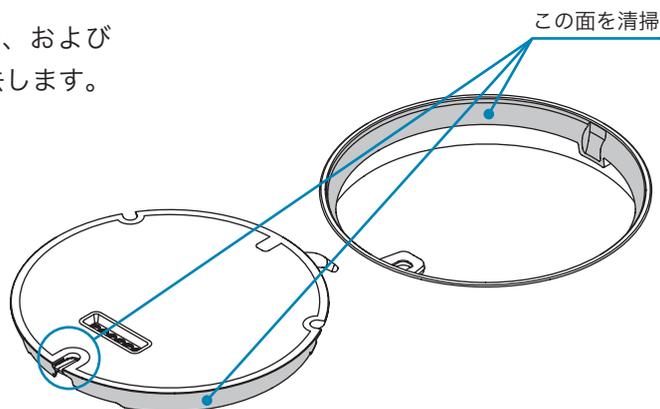


⑥蝶番が蝶番座に引っ掛っている時は蓋を少し戻してから再度転がしてください。



■蓋の取り付け

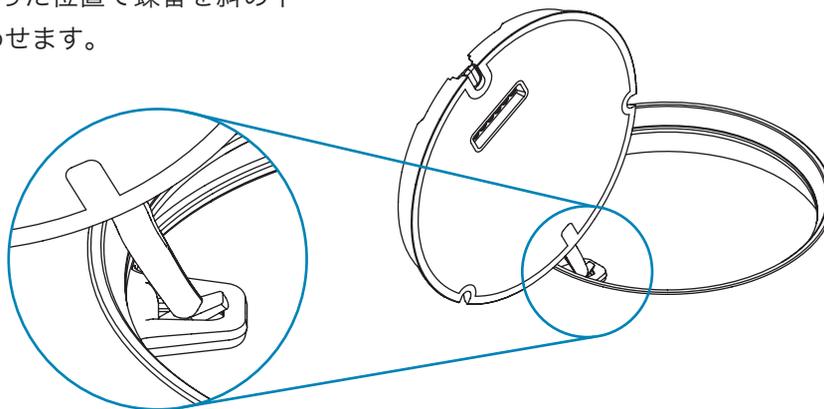
- ① ウェスや金ペラを用いて、蓋と枠の勾配面、およびパール穴部を清掃し、土砂などの異物を除去します。



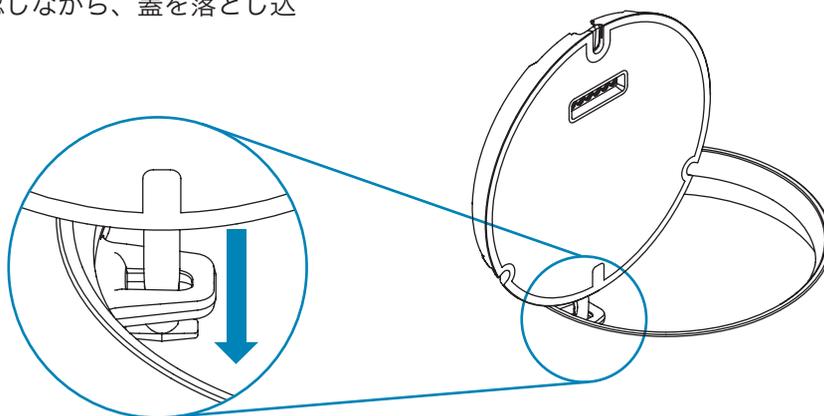
⚠ 注意

- ・ 蓋を閉める際には、蓋と枠の勾配面を清掃し、土砂などの異物を除去してください。
蓋と枠の勾配面に異物が介在していると、がたつきの原因となり、最悪の場合、蓋が飛散する恐れがあります。

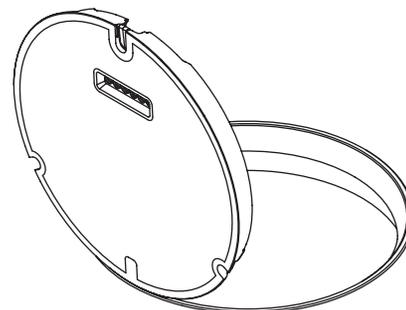
- ② 蓋を持ち上げて、90度ひねった位置で蝶番を斜め下に向け、蝶番座の位置に合わせます。



- ③ 蝶番が下を向くように蓋を起こし、蝶番が枠の蝶番座の中に入っていることを確認しながら、蓋を落とし込みます。

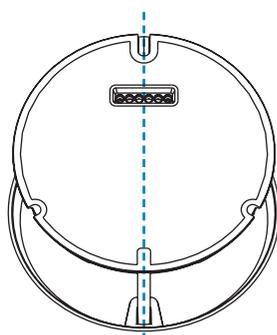


④蓋を90度回転させます。

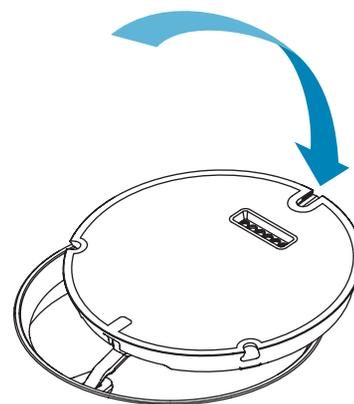


⑤蓋をいっぱい到手前に引き出した状態で、静かに置きます。

このとき、蓋と枠が一直線になっていることを確認してください。



蓋と枠が一直線上になっていることを確認する



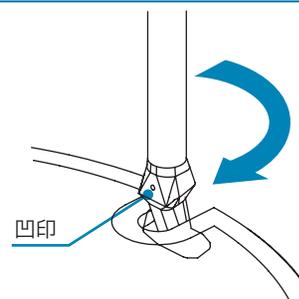
警告

・蓋を垂直転回する際には足場を十分に確保し、ボックス内に転落しないよう十分注意してください。

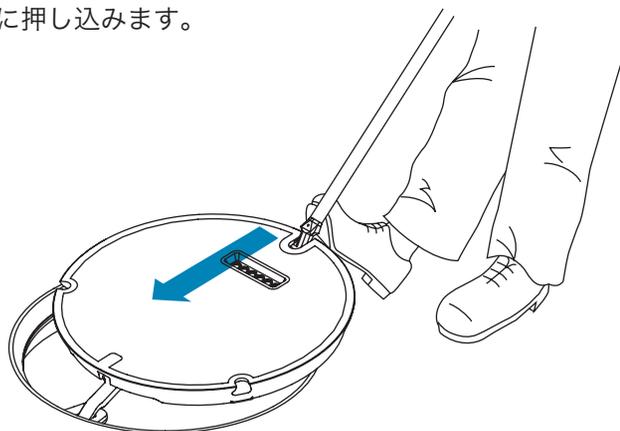
注意

- ・蓋を扱う際には、必ず手袋を着用してください。
素手で扱くと、けがをする恐れがあります。
- ・蓋を垂直転回する際には、指を挟まないようにしてください。

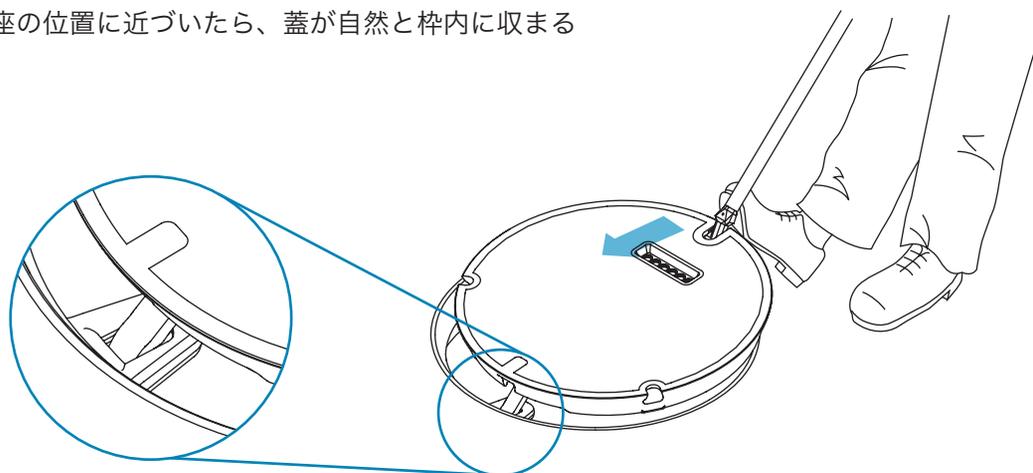
⑥専用バールの先端をバール穴に差し込み、90度回転します。このとき、専用バール先端部の凹印面（黄色の面）が蓋の中心側を向くようにします。



⑦蓋に片足を添え、蝶番側に向かって蓋をまっすぐに押し込みます。



⑧蓋が枠の蝶番座の位置に近づいたら、蓋が自然と枠内に収まるようになります。

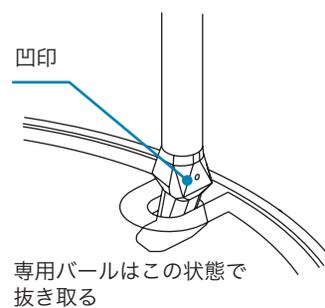


蓋が蝶番座の位置に近づいた状態

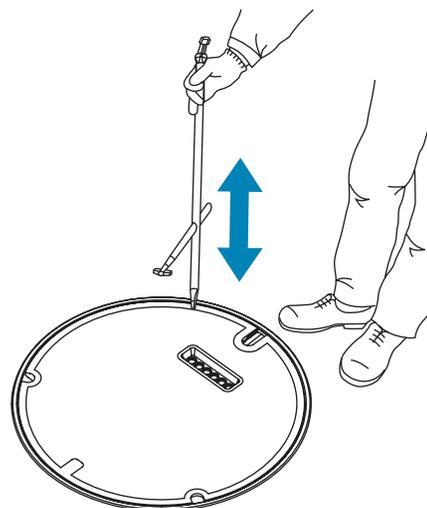
お願い

・パールを持つ手や足の力で無理に押し込まないでください。

⑨専用パールを90度回して抜き取ります。

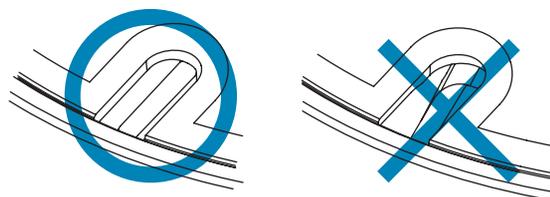


- ⑩蓋を枠に収めた後、専用バールの先端で蓋の外周を数カ所たたいて、蓋上面と枠上面がほぼ同じ高さになるように食い込ませます。

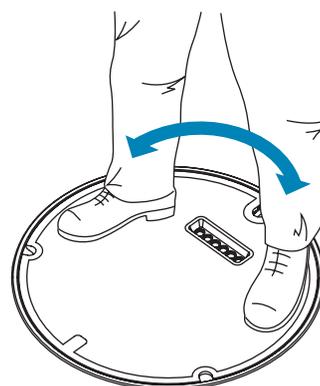


お願い

- ・ 蓋を食い込ませるとき、蓋と枠の境目の部分をたたかないでください。
境目の部分にカエリができ、蓋が開けにくくなります。
- ・ 標示部を直接バールでたたかないでください。
標示部の剥離、クラックの原因となります。
- ・ 閉塞蓋が正規の位置にあることを確認してください。
閉塞蓋が下がっている場合は、専用バール先端で閉塞蓋を上下動させて正規の位置に戻してください。



- ⑪蓋の上に乗る、体重を移動させながら蓋のがたつきがないことを確認します。



警告

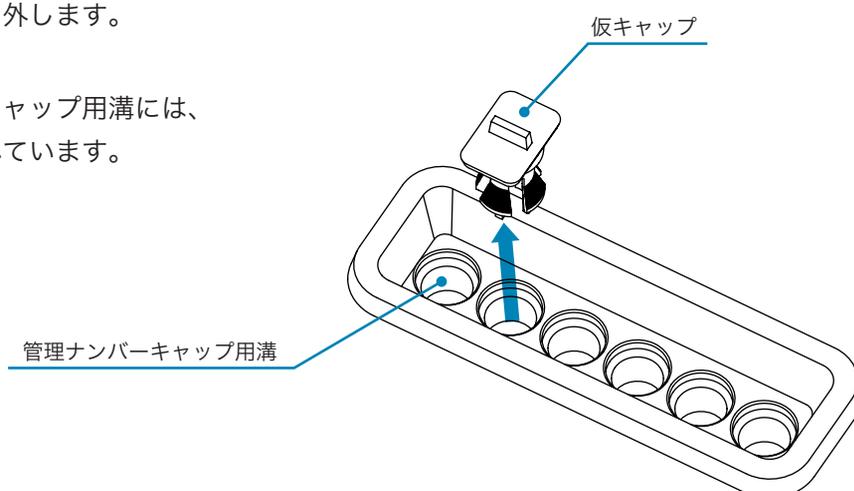
- ・ 蓋のがたつきがある場合は、①～⑪の操作を繰り返して、がたつきがないようにしてください。
蓋のがたつきがある状態で放置すると、最悪の場合、車両通過時に蓋が飛散する恐れがあります。
①～⑪の操作を繰り返してもがたつきが解消されない場合は、弊社営業所にご連絡ください。

- ⑫カラー標示を行っている蓋についてはカラー標示部に土砂等が堆積している場合は、取り除いてください。
土砂等が堆積したままだと視認性が低下し、周囲への注意喚起や有事の際に発見が遅れる恐れがあります。

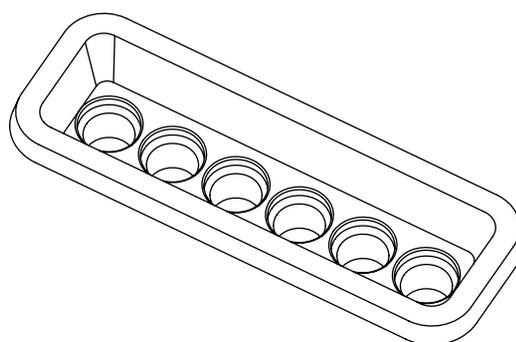
管理ナンバーキャップの取り付け

①ペンチなどで仮キャップを外します。

※出荷時に、管理ナンバーキャップ用溝には、
仮キャップが取り付けられています。



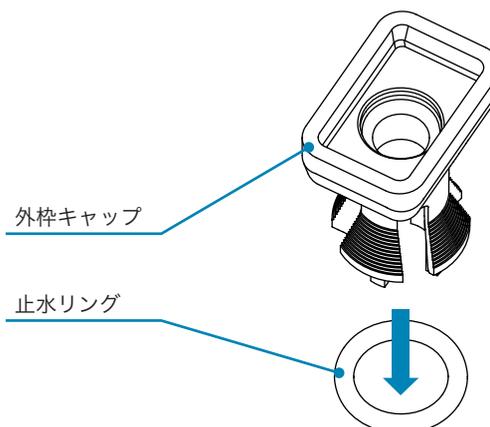
②管理ナンバーキャップ用溝を清掃して異物を取り除きます。



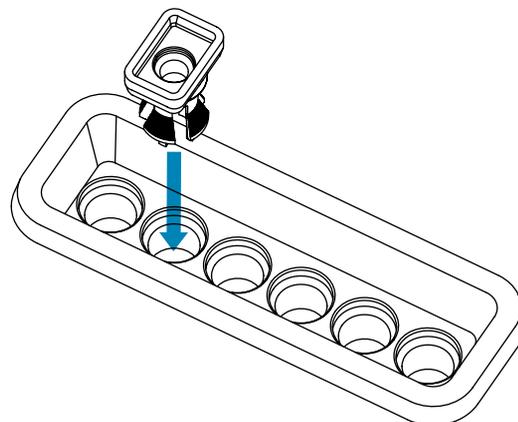
お願い

- ・蓋の管理ナンバーキャップ用溝の異物を除去してください。
異物が異物が介在していると、管理ナンバーキャップを取り付けできなくなります。

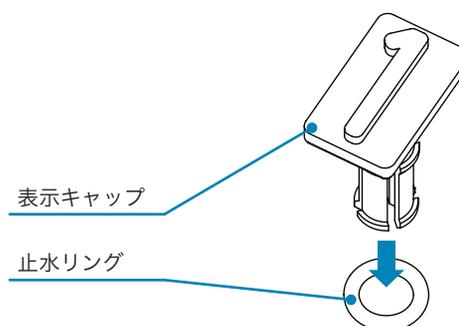
③外枠キャップに止水リングを取り付けます。



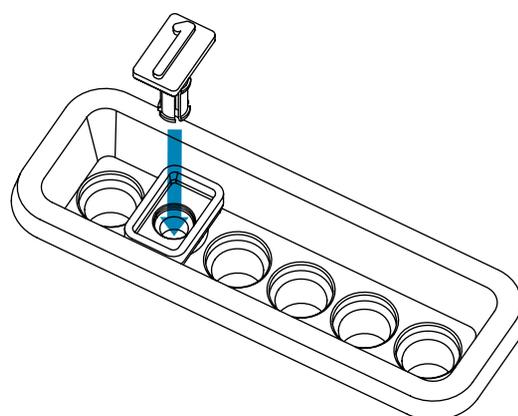
-
- ④蓋の管理ナンバーキャップ用溝に③の外枠キャップ
(止水リング付)を取り付けます。



-
- ⑤表示キャップに止水リングを取り付けます。



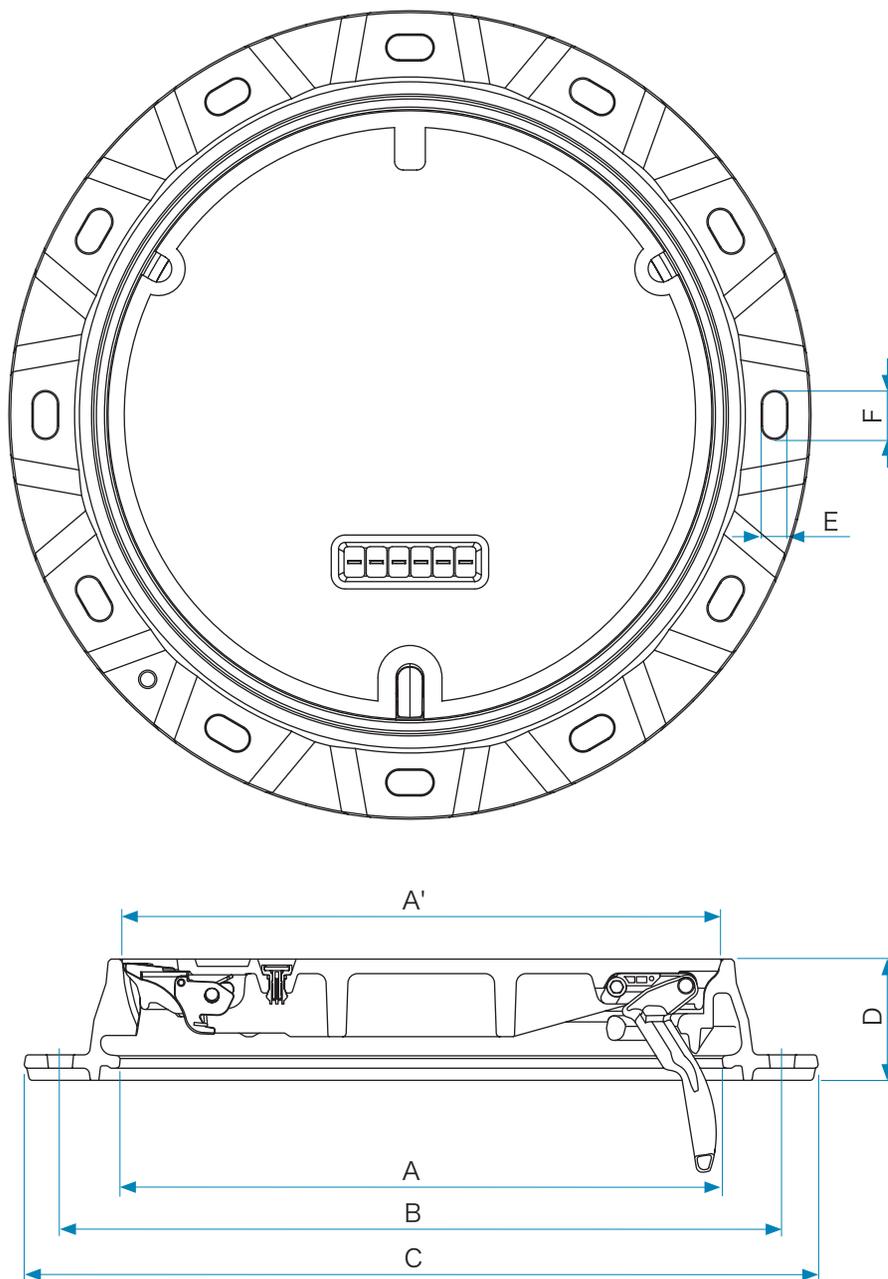
-
- ⑥外枠キャップに⑤の表示キャップ(止水リング付き)を
取り付けます。



仕様・寸法

単位：mm

	管理 ナンバー	A、A'	B	C	D	E	F	荷重 仕様
ROES-50G-10C	6桁	φ 500	φ 600	φ 660	100	22	40	T-25
ROES-60G-10C		φ 600	φ 700	φ 760	100	22	40	T-25



維持管理のお願い

「上水道用丸型鉄蓋・大口径 ROタイプ」の機能維持のため、施工時や維持管理時に以下の点検（メンテナンス）を行ってください。

また、（公社）日本水道協会発行の「水道用鉄蓋類維持管理マニュアル2004」などもご参照ください。

1. 施工時

点検項目	目的	点検方法	整備方法	チェック欄
蓋枠	蓋の飛散・騒音防止	蓋上の車両通行または、足踏み時の蓋の動き、がたつき音等の有無を確認してください。	蓋のがたつきがあった場合は、蓋と枠の勾配面をウエス・金ペラ等で清掃し、蓋を枠に対して水平に収め蓋の外周をバールで軽くたたいて食い込ませてください。 それでもがたつきがある場合は、新品の蓋に交換して、蓋のがたつきがないことを確認してください。 新品の蓋に交換しても蓋のがたつきが収まらない場合や枠のがたつきがあった場合は、再施工し新品の枠に交換してください。	<input type="checkbox"/>
蓋	蓋枠破損による事故発生の防止	蓋と枠の強度に影響を及ぼす蓋裏面や枠の破損、クラック、ひび割れなどがないことを確認してください。	蓋に破損、クラック、ひび割れがある場合は、新品の蓋に交換してください。	<input type="checkbox"/>
	開錠困難の防止 (防火水槽φ600)	開蓋後、蓋に取り付けられている機能部品（自動錠、蝶番）に破損がないことを確認してください。	蓋の機能部品（自動錠、蝶番）に破損があった場合は、機能部品を交換してください。	<input type="checkbox"/>
	標示の汚れ (蓋表面に標示充填されているタイプ)	蓋の標示が、土砂等の汚れにより見えにくくないか確認してください。	見えにくくなっている場合は、ブラシ・ハケ・ウエス等で標示部の清掃を行ってください。	<input type="checkbox"/>
転落防止梯子 (防火水槽φ600枠)	転落・落下防止	転落防止梯子が枠に取り付けられているか確認してください。	転落防止梯子が枠に取り付けられていない場合は、転落防止梯子を取り付けてください。	<input type="checkbox"/>

2. 維持管理

点検項目	目的	点検方法	整備方法	チェック欄
蓋枠	蓋の飛散・騒音防止	蓋上の車両通行または、足踏み時の蓋の動き、がたつき音等の有無を確認してください。	蓋のがたつきがあった場合は、蓋と枠の勾配面をウエス・金ペラ等で清掃し、蓋を枠に対して水平に収め蓋の外周をバールで軽くたたいて食い込ませてください。 それでもがたつきがある場合は、新品の蓋に交換して、蓋のがたつきがないことを確認してください。 新品の蓋に交換しても蓋のがたつきが収まらない場合や枠のがたつきがあった場合は、再施工し新品の枠に交換してください。	<input type="checkbox"/>
蓋	蓋枠破損による事故発生の防止	蓋と枠の強度に影響を及ぼす蓋裏面や枠の破損、クラック、ひび割れなどが無いことを確認してください。	蓋に破損、クラック、ひび割れがある場合は、新品の蓋に交換してください。	<input type="checkbox"/>
	スリップ防止 (耐スリップ車道用)	蓋表面の模様部が摩滅していないことを確認してください。 蓋表面のスリップサインに摩滅がないかを確認してください。	蓋表面のスリップサインが摩滅していた場合、新品の蓋に交換してください。 <div style="text-align: center;"> </div>	<input type="checkbox"/>
	開錠困難の防止 (防火水槽φ600)	開蓋後、蓋に取り付けられている機能部品（自動錠、蝶番）に摩耗や破損、腐食がないことを確認してください。	蓋の機能部品（自動錠、蝶番）に摩耗や破損、腐食があった場合は、機能部品を交換してください。	<input type="checkbox"/>
	標示の汚れ、剥離、及び白化 (蓋表面に標示充填されているタイプ)	蓋の標示が、土砂等の汚れにより見えにくくなっているか確認してください。	見えにくくなっている場合は、ブラシ・ハケ・ウエス等で標示部の清掃を行ってください。	<input type="checkbox"/>
		蓋の標示が、経年劣化による、剥離、白化を生じていないか確認してください。	汚れや土砂を清掃後、標示の白化が著しい場合や、標示が剥離している場合は、蓋の交換を行ってください。	<input type="checkbox"/>

※上記保守を行った上でも、なお不具合が生じる場合は、弊社営業所までご連絡願います。

日之出水道機器株式会社

<https://hinodesuido.co.jp/>

本 社 福岡市博多区堅粕5-8-18(ヒノデビルディング)……………(092)476-0777
東 京 本 社 東京都港区赤坂3-10-6(ヒノデビル)……………(03)3585-0418